

発行：(公財)日本フィルハーモニー交響楽団 〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1 TEL 03-5378-6311 FAX 03-5378-6161

この春、桜の季節から新緑の季節にかけて、2度にわたって福島県南相馬市を訪れました。その様子を2号に分けてレポートいたします。

4月1日~3日

## 南相馬市への道

東京では桜が満開を迎えた4月のはじめ、福島県南相馬市を楽員たちが訪れました。

新幹線の福島駅からは、途中、立ち入り禁止区域を避けるため遠回りして向かいます。福島市から川俣町、飯館村を抜けて南相馬市までは約1時間半ほどの道のり。一見のどかな山々の風景を背景に、目に飛び込んでくるのは行き交うダンプカー、「除染作業中」という立て看板、そして更地のような地面(もともとは田畑)に積まれた放射性廃棄物の詰まった黒いビニールバッグ。全て、周辺の山々や田んぼの表面を除染したものなのだそうです。その量の多さと気の遠くなる除染作業に、メンバー同言葉を失ってしまいました。しかも、これは仮の置き場。最終処分地はまだ決まっていません。



一見、日本昔ばなしのようなのどかな春の風景

1日目、まずは原町第一中学校の音楽室をお借りしてリハーサルをさせていただきました。

校長の遠藤先生にお話を伺うと、子どもの数は震災前の三分の一、そんな中で全国大会常連校の原町第一中学校の吹奏楽部は地域の人びとの星なのだそうです。小学校にも金管バンドやマーチングがあり、小学生の頃から音楽に親しんでいる子どもが多いそうです。この春からの新一年生も、入学式前にもかかわらず上級生に混ざって練習に精を出していました。また、遠藤先生によると、地域の高校にも吹奏楽部があり、音楽の道や教育の道に進んで今度は指導者として後輩たちに教えに来たり一緒にコンサートをしたりする人材も少しずつ出てきている、ということです。若者が地元のために帰ってきてくれること、音楽を介して人々の絆が繋がれ続けていること、その一助に日本フィルもお役に立てたらこんなに嬉しいことはありません。



春休みも思う存分練習さんまい!



中学校正面には、吹奏楽部によるアンサンブルコンテスト受賞の垂れ幕が飾られていました

## ふたたび、集う場へ。旧警戒区域にあるお寺でのコンサート



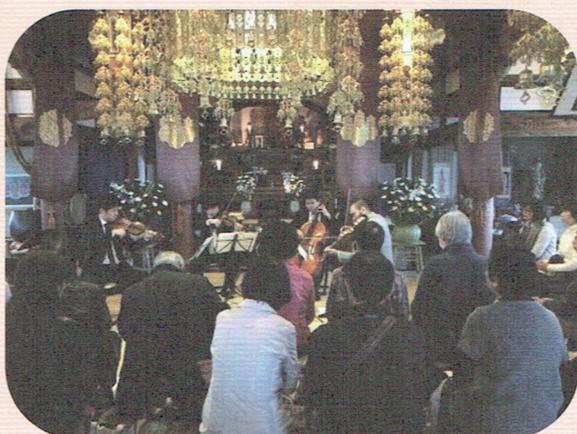
名刹と呼ぶにふさわしい、美しく神秘的な境内の様子

翌日は小高区に移動し、名刹・同慶寺での昨年9月に続く第2回目のコンサートです。

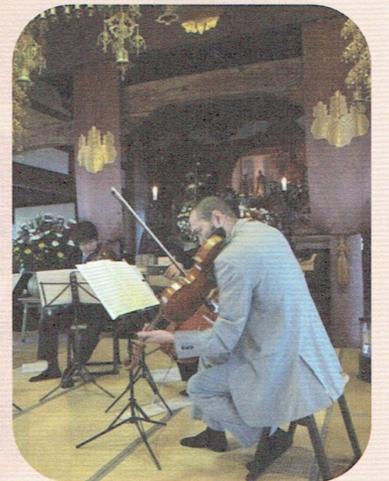
境内には何十本もの杉の木が立ち並び、樹齢700年の大いちょうの巨木がそびえ、荘厳な空気で満たされています。ただ、除染作業が一通り済んだとはいえ、そこは原発から17キロの場所。避難指示解除準備区域(旧警戒区域)のため、日中の立ち入りは自由ですが、住むことも宿泊することも制限されています。2016年内には避難指示を解除するという国の見通しもあるそうですが(※)、南相馬市北部やいわき市などの県内、埼玉などの他県に避難している檀家の皆さんはそのことを明るいニュースとしては受け取っていません。(※国の見通しでは2016年7月1日に避難指示を解除するという方針があるそうですが、実際は南相馬市が住民の皆さんに説明を行った上でどうするかを最終的に判断するそうです。)人びとのいない境内はひっそりと神秘的な空気が漂っています。

開演時間が近づくと、このために小高区に戻ってきた方々で本堂はいっぱいになりました。檀家さん、原町第一中の子供たち、その保護者や家族の方々。再会を喜ぶ声と人びとの活気で雰囲気が一変しました。フェイスブックでこのコンサートのことを知ったという同宗派の別のお寺のご住職も加わり、心強いつながりがまた一つ生まれます。住職の田中徳雲さんが「みなさんに感謝、今私たちがここにあるのは、お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃん、ご先祖様のおかげです。」とあいさつし、全員で般若心経を唱え心をひとつにして会が始まりました。

演奏は、ヴァイオリン田村昭博・竹内弦、ヴィオラ高橋智史、チェロ横山桂による弦楽四重奏。モーツァルトの弦楽四重奏「春」やピアソラのリベルタンゴ、吹奏楽でポピュラーな「アルヴァマー序曲(弦楽四重奏版)」などのプログラムを、楽器紹介を交えながら約2時間たっぷりお聴きいただきました。途中、休憩時間はお客様のカフェタイム。ご住職のふるまうお茶とお茶菓子を片手に、近況報告など話に花が咲いていました。こういう何気ない時間を故郷・小高の地で持つということが、今は貴重なのかもしれません。「ヴァイオリンや



シャンデリアのような天蓋(てんがい)のもとに約100名がつかいました



チェロなど近くで見たことがなかったので、間近で聴けて感激した。」「なじみのある場所でこういう音楽会が聴けて嬉しい。」と笑顔で話す方が多くいらっしゃいました。子どもたちからも、「かっこよくて感動しました。」「テレビとかで聴いているよりも音がすごいきれいで感動した。」「今までと違う音楽の表現があって、楽しかったです。」「弦楽器の音を間近で聴いて、こんな音も出せるんだなと思いました。」という素直な感想が聞かれました。